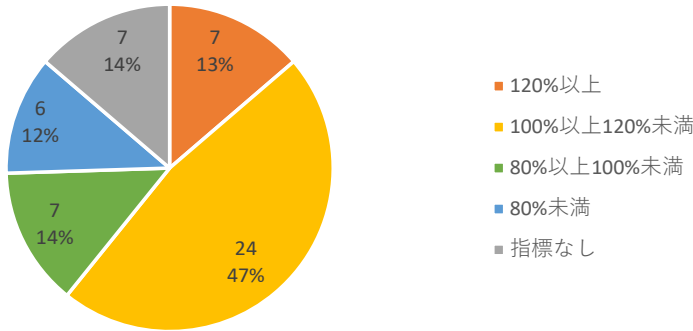


○計画全体のR6年度末KPI状況



●重要業績指標（KPI） の状況 全51項目（再掲除く）

- ・R6年度末時点での目標を達成している項目が31項目（[120%以上達成]が7件、[119～100%以上達成]が24件）で、全体（44件；指標なし除く）の約70%となった。
- ・一方、R6年度末時点での目標を達成していない項目は13項目（[99%～80%以下]が7件、[79%以下]は6件）となった。
- ・なお、R6年度に指標の設定がないものが7項目あった（R7年度以降の設定のため、またはR5年度以前で事業完了のため。）。

●R6年度の進捗状況

- ・橋梁の改修工事や排水路整備延長が目標以上に進み、ハード面における災害対応力の強化が図られた。
- ・地域での防災訓練や防火講習会、出前講座等が積極的に実施され、防災教育の推進が図られた。
- ・空き家の除却や学校危険物の解体については、母数が少ないものの件数が伸び悩んでおり、更なる制度の周知などを図る必要がある。
- ・北陸新幹線開通とそれに伴う越前たけふ駅の開業により、新たな交通体系を取り入れた防災体制の整備が求められる。

○施策の重点化9項目（計画全体では31項目）に関する主なKPI状況及び各取組み成果等について

重点化項目（9項目）	リスクシナリオ	主な推進方針 （再掲を除く56項目中22項目を掲載）	R6年度 主な取組の成果	R6年度主な重要業績指標（KPI）の状況 （再掲を除く51項目中17項目を掲載）
	1－1大規模地震による建物等の倒壊や大規模火災による多数の死傷者の発生	○住宅・建築物等の耐震化等の促進 ○公共施設等の耐震化等の促進 ○火災につよいまちづくりの推進	・能登半島地震の影響による申込み・問合せ数増加により、木造住宅の耐震診断64件、耐震改修19件と申請件数にも伸びが見られた。 ・ポスティングによる働きかけを行い、補助制度を利用した通学路の危険ブロック塀除却を10件実施。 ・市政出前講座や福井建築情報フェスタにおいて耐震化補助制度等の周知・広報を行った。 ・総務省アドバイザーを講師に招き、職員に対し、公共施設の適正な維持管理に対する職員の知識向上のための研修を開催。 ・耐震化の設計1件、解体除却工事1件を実施。 ・照明LED化を9校舎・5体育館で完了。 ・日常的な施設の点検や年間計画に基づく防火水槽の点検を通年で実施。 ・外国人住民世帯に対し、市や外国人を多く雇用している事業所及び人材派遣会社と協力して外国語の防火チラシを配布。 ・南越消防組合HP、市広報紙及びこしの都NW文字放送を活用した火災予防広報の実施。 ・防火講習会等の開催1,491回。	・住宅等の耐震診断累計件数 R6目標 515件→実績 534件 ・住宅等の耐震改修累計件数 R6目標 91件→実績 103件
	1－2突発又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生	○河川改修等の治水対策の推進 ○水防対策の推進 ○洪水ハザードマップの活用	・河川浚渫工事9河川、河川改修工事4箇所、排水路改修工事5箇所を実施。 ・河川カメラ3台増設。 ・水防倉庫設置場所の確定及び予算化。 ・既存倉庫及び駐在所の解体について警察協議等を実施。 ・各地区の防災訓練や防災講習、市政出前講座にて、ハザードマップの活用方法を周知。 ・こしの都ネットワークでの番組を新たに作成し放送することで、地震対策と併せて家庭での備蓄品について啓発を行った。	・河川整備累計延長(小規模) R6目標 4,050m →実績 4,008m ・排水路整備延長(単年) R6目標 100m→実績 203.4m
	1－3大規模な土砂災害等による多数の死傷者の発生	○土砂災害対策の推進 ○地域防災力の向上 ○防災教育等の推進	・通常砂防事業として1河川の本体工事完了、その他工事の準備や事業採択に向けた要望の継続を実施。 ・森林間伐34.15ha、付帯ネットによる森林整備20.78ha。 ・土砂災害を想定した本部訓練を実施。 ・自主防災組織リーダー育成研修会を開催、359人参加。 ・外国人市民防災リーダー新認定5名(延べ54名)。 ・普通救命講習会の修了者数(累計14,366人) 。	・土砂災害危険住宅の除去・移転・改修累計件数 R6目標 2件→実績 2件 ・間伐面積(単年) R6目標 90ha→実績 54.93ha
	1－4大雪に伴う道路交通網の麻痺や住宅・建物等の倒壊による多数の死傷者の発生	○道路の除雪体制の強化 ○道路の災害対応力の強化 ○公共交通の安全運行の確保	・消雪設備工事1路線、さく井工事1路線、取水施設完成2路線 ・115箇所の水源及び約74.3kmの散水管の点検及び調整業務の実施。 ・除雪機械購入補助5台。 ・道路舗装補修1路線。 ・橋梁の定期点検352橋、補修13橋。 ・公共交通機関の運行情報等の集約、周知(大雪による帰宅困難者発生時の対応実績あり)。 ・福井鉄道とえちぜん鉄道において事故を想定した車両移動合同訓練を実施。 ・除雪時期前にバス事業者と連絡体制を確認。	・消雪施設整備・保守路線累計延長 R6目標 73.9km→実績 74.3km ・市道除雪累計延長 R6目標 582km→実績 585km
	2－1被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止	○非常用物資・設備の確保 ○家庭における備蓄の推進	・食料品の必要数確保。 ・期間間近の備蓄品について、出前講座や地域訓練等において提供。 ・市政出前講座や防災訓練等において、3日間備蓄の呼びかけとローリングストックについての啓発を行った。	・市政出前講座での普及・啓発件数(単年) R6目標 45件→実績 45件
	2－7劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化、死者の発生	○水道施設の老朽化対策、緊急時の給水の確保 ○避難所等の適切な運営と整備	・水道施設の電気設備や機械設備の更新(3施設完了、3施設継続)。 ・老朽管更新及び耐震化(7地係、約1260.2m)。 ・避難所運営職員への研修、現地確認の実施。 ・福祉避難所マニュアルの見直し。 ・災害時保健活動マニュアルの作成。	・水道管路の耐震化率 R6目標 9.4%→実績 9.8% ・学校トイレ洋式改修数 R6目標 23/24校→実績 24校/24校 (R5年度達成済)
	4－3災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や救助・支援が遅れる事態	○情報通信機能の耐災害性の強化 ○効果的な情報提供の推進等	・ポータブルバッテリーを各広域避難所へ配備。 ・MCA無線代替え機器の検討を継続して実施。 ・機器賃貸借契約の更新に合わせ、固定資産税GIS、CMS(DB・WEB)のサーバを本庁に移転。 ・報道連絡、広報、HP、各種公式SNSなど様々な媒体を利用した情報発信を適切に実施。 ・「Yahoo!防災速報」アプリを活用し、観光客や来訪者に対し避難所開設情報を配信できる体制を整備。	・耐震施設等へのサーバ等の移転数 R6目標 100%→実績 100% ・避難行動要支援者1人当たりの支援者数 R6目標 0.75人→実績 0.93人
	6－1ライフライン(電気、ガス、上下水道、通信等)の長期間にわたる機能停止	○ライフライン機能の確保・早期復旧 ○污水处理施設等の整備、老朽化対策	・福井放送との連携協定に基づき、連絡体制の確認を行った。 ・災害協定に基づいて構築してきた電力事業者との連絡体制を活かし、停電発生時に迅速な対応が取れた。 ・地域ぐるみでの公共下水道接続促進への取組として、区長への働きかけを行い、6町内29件の接続を達成。 ・下水道未接続の大口需要家に対し接続促進を行い、食品工場1件、集合住宅2件について合併浄化槽からの切替が完了。	・公共下水道整備率 R6目標 89.4%→実績 89.2% ・公共下水道管路の重要な幹線の耐震化率 R6目標 43.6%→実績 43.7%
	6－3基幹的な地域交通ネットワークの長期間にわたる機能停止	○輸送ルート、地域公共交通の確保等 ○食料供給体制の強化	・JR西日本に対し「小浜・京都ルートによる大阪までの1日も早い認可・着工及び全線開業の実現」について要望(北陸新幹線建設促進丹南協議会)。 ・新たに1事業所と応援協定を締結(計12自治体、65事業所・団体)。	・市道改良累計延長 R6目標 610km→実績 611km